

* 全国 * * * * * 第5号

母親クラブだより

「みんなで育てる地域の子」-みんな仲間よ母親クラブ-



- 新規会員紹介
- 活動報告
- 行政だより
- 伝承遊び
- 母親クラブホームページ
ページのご案内と
その利用方法
- 事務局だより



発行
全国母親クラブ連絡協議会

〒140-0002 東京都渋谷区渋谷2-15-1 (財)東邦生命社会福祉事業団内

TEL. 03-3797-8183~4 FAX.03-3797-8122
<http://www.hahaoya-club.ne.jp/>



群馬県母連「氷の彫刻フェスティバル」

(写真提供：群馬県母親クラブ)

表紙の写真を募集しています。日々の活動や催事など、全母協事務局までどしどしご応募ください。

**新規会員紹介
兵庫県母親クラブ連絡協議会**

「開花」

会長 天田博子

去る三月十七日、長年の懸案であつた兵庫県母親クラブ連絡協議会設立総会を県児童課や県内の会員皆様方のご協力により、無事終える事が出来ました。

私達は、兵庫県母親クラブの設立を願い、県の方々や尼崎の母親クラブをはじめ、県下の母親クラブに働きかけましたのは、私が幾度か、母親クラブ

全国大会に出席させて頂き、その参加者皆様が児童健全育成に対し情熱を持ち、活動されている熱意に打たれたからであります。様々な活動事例の報告があり、熱心に討論されている母親クラブのリーダーの姿を見て、私達の活動もこうでなければならぬと強い感銘を受けました。

その時に感じましたのが、兵庫県では母親クラブ連絡協議会がない事であり、それがいつまでも活動を広げられない原因となつてゐるのはないか、そのように感じたことから、姫路市においても連合会を結成し、「心豊かにふるさとを愛する子」を訴えながら活動を続けて参りました。



単位クラブ数・・・六六クラブ
会員数・・・三〇五三名
事務局
〒六七〇一〇七三 姫路市御立中二一三一六二六
電話 〇七九二(九七)一三七六

た私達は、「渡りに船」と希望に満ちた開花の日を迎えることができました。これも一重に、東邦生命事業団や全母協の皆様方のご指導やご支援の賜と心より感謝致しております。
兵庫県母親クラブ役員一同微力ではございますが、各母親クラブの連携を密にして母親クラブの普及とその活動の拡充、発展を図り、こどもたちの健全育成や会員相互の資質の向上と親睦を目的として、この会が大きく発展していけるよう会員一同協力し、全母協の皆様の足手まといになることなく努めて参りたいと考えております。今後とも何卒宜しくご指導賜わりますようお願い申しあげます。

全国母親クラブ

北海道・東北・関東
ブロック活動報告

児童養育に関する研究活動
東京都母親クラブ連絡協議会
鈴木真知子

都母連では、設立当初から年一回の会員同士の交流会と、未加入クラブの児童館職員との母親クラブの方々に呼びかけて研修会を開催しています。昨年の研修会は、早稲田大学人間科学部教授の菅野純先生をお招きして「親子関係とそれを取り巻く地域の役割」キレル・ムカツク：自己コントロールできないのはなぜ？」という、ショッキングなテーマでお話しを同いました。その一部を、都母連だよりから抜粋してご紹介いたします。

「完全なる子育てがないのと同様、完全なる親子関係はない。大事なことは、間違えたと思つたら修正しながら歩んでいくことが必要である。」という話に始まって、「子供は、親から与えられたこと、求められたことが重すぎた時にSOSのサインを出すが、親は、子供の為だからと思い込み修正できない。周りから見ると見えることが、当人は分かりにくい。フォローできる人間が周囲に多勢いると良い。日頃から地域で互いに率直に話しあえる人間関係、友人づくりをしていくことが、肝心で

ある。」等々、子供の心に何を育てれば良いか、心の基礎として、「心のエネルギー（元気・意欲の素）・社会的能力（人の中で生きる力）」これには、何度も繰り返し、声をかけ、学習することが大事。地域の人達が、できることは、挨拶などを根気強くしていくこと、大人を信頼できる関係をつくることが必要であり、互いに心にゆとりを持てる働きかけが大事と、熱っぽく、具体的に語って頂き、会場の皆様方からも熱心な質問があり、時間が足りない程、盛り上がった研修会となりました。子育てにおいて地域の役割の大切さを再確認し、新たな気持ちで活動するための刺激を受けた有意義な一日でした。今年も、沢山の刺激を求めて、活動をしたいと思います。



中部・近畿
ブロッサ活動報告

児童の事故防止のための活動

和歌山市母親子どもクラブ運営協議会
諏訪美由紀



子供が最も喜びかつ、成長する過程において大きな意味と価値を持つ野外活動。キャンプ、ハイキング、クリスマス会、公園での清掃活動等々、どの行事をするにも一番気がかりなのは安全面ではないでしょうか。私たちクラブでも事前に下見をしたり検討するなど準備は大変です。安全面ばかり考えても子供にとって楽しい活動にはなりません。事故等の発生を未然に防ぎ活動していくにはどうすればいいのか、和歌山市母親子どもクラブ運営協議会の指導の一環である役員研修会で、ボーラー

イスカウト和歌山連盟県コッミショナーハ磯本博良氏を講師に招いて「クラブ活動と安全」と題しまして勉強しました。

ボーラーは、事故例として平成八年度徳島で発生した悲惨な事故について話を聞かせていただき、「注意していたにもかかわらず事故は発生する」、「危険を予測しておく事が大切である」という事を具体的に教えていただきました。

私たちのクラブでも大事には至らなかつたけれども、キャンプで宿舎のベッドから落ち頭を打った子、鼻血を出す子、遊んでいて怪我をする子は、やはりあります。事故が起きたときに大変か改めて痛感させられました。

●野外活動の安全対策として●

安全管理
安全教育
安全知識の徹底
安全技術・技能の向上
設備・備品の安全管理
緊急対策

例えばハイキングでの服装は半袖は着せない。お弁当はリュックの一番上に入れる。天候の問題は? 近くに病院は? また、連絡方法は? 目的地までの行き帰りは? 等々。一つの行事をするにもいろいろな面から注意する必要があります。

●子供の事を知る方法として●

事故傾向児チェックリストなどを利用して各項目ごとにチェックして注意をあらかじめしておくのも一つの方法だと思います。子供の危険、安全に対する判断能力は満十五才以上にならぬないと有しないそうです。そのような子供達に分からせるには言葉だけではなく、身振り手振り、行動で指導する。大人と子供では見える力、視野が違うため

イスカウト和歌山連盟県コッミショナーハ磯本博良氏を講師に招いて「クラブ活動と安全」と題しまして勉強しました。

ボーラーは、事故例として平成八年度徳島で発生した悲惨な事故について話を聞かせていただき、「注意していたにもかかわらず事故は発生する」、「危険を予測しておく事が大切である」という事を具体的に教えていただきました。

私たちのクラブでも大事には至らなかつたけれども、キャンプで宿舎のベッドから落ち頭を打った子、鼻血を出す子、遊んでいて怪我をする子は、やはりあります。事故が起きたときに大変か改めて痛感させられました。

中国・四国・九州
ブロッサ活動報告

親子及び世代間の交流、文化活動

鹿児島県母親クラブ連絡協議会
柳あつ子

子供の目線に合わせて指導する必要があること。野外活動において、環境、服装、心理状態、行動の四つの悪い状態が重なった時に事故につながりやすい。改めて安全に対する難しさを認識し、これから地域での活動が安全で楽しい活動になるよう努力していきたいと思います。

平成一〇年七月、夏休みが始まるとすぐに、鹿屋市の国立「大隅少年自然の家」(愛称・おおすみくん家)には、宇宙ロケット基地で有名な種子島の西之表市から「ふれあい」、かつおで有名な枕崎市から「かつおっ子」「夢気球」、鹿屋市から「あじさい」「なかよし」の計五クラブの仲間が集まりました。現在の県母協は、このわずか五クラブで活動しており、「おおすみくんの家」での研修は今回で二回目でした。水中翼船やフェリーに乗り、参加するのは大変ですが、元気な顔が揃うのはとても嬉しいものです。

今回心に残ったことが三つあります。一つ目は、開会式で枕崎の仲間が手話で母親クラブの歌「お母さんから」を歌い、早速参加者も習い歌つたことです。どのクラブでも、やりたいこと、取り組みかねていることがあります。遊び合える事を大変嬉しく思いました。二つ目は、母親たちはディスカッシ



ヨン、子供たちと数人の母親と大学生リーダーはオリエンテーリング、プログラムを立てていましたが、嬉しいことに「父親と母親と子供」という家族の参加がありました。自然がいっぱいの山の中、お父さんがいるグループは安心でした。「お父さんも一緒に来れたら良かったのに」と想つた人は多かったのではないかと思います。今後は父子のふれあいを考慮して、父親の参加を促したいと思いました。

三つ目は茶道教室のことです。暑い中すてきな茶室で、わずかな参加者に對して、経験豊かな着物姿の先生方が、自然の家のボランティアとして丁寧に優しく教えて下さいました。茶室での振る舞い方やお茶の点て方等、細かなことも実際に体験しました。「こんなこともするの!」とびっくりしたり感動したり。茶道に限らず日本文化に親子で触れる機会を益々大切にしていきたいと感じたことでした。

行政だより

厚生省児童家庭局育成環境課
課長補佐 石井祥治

全国の母親クラブ会員の皆様、
こんには。

「母親クラブだより」も母親クラブ事務局等の皆様方のご努力により、早いもので第五号が発行されることになりました。その度、貴重な紙面をさき児童福祉行政のPRをさせていただいておりますことを感謝申し上げます。

さて、いま、国民全体で考えていかなければならぬことの一つに少子社会の問題があります。厚生省が「育児をしない男を、父とは呼ばない。」という少々ハードなコピーを使つてキャンペーンを実施していることは既にご存知のことと思います。

出生数の低下により子どもの数が更に少なくなり、地域や家庭における子育てや子どもの教育、しつけのあり方などについて、様々な知恵を出し合つて真剣に考えていかなくてはならない時代になっています。この中で、子育てを経験し或いは現に子育て中の親の集まりであります「母親クラブ」の果たす役割は、ますます重要なものになつていています。このように、厚生省においては、児童の健全育成の向上を図るために地域組織として「母成親クラブ」等を育成し児童館等を拠点とした地域活動の推進を図ることを目的に、毎年「母親クラブ」等に関わる予算として地域活動育成事業費を計上しておりますが、平成十一年度に置いたとしても、三億一千六百万円余を予算計上

しの活動を支援していくこととしております。

この予算の中には、日曜日や休日に父親と子どものふれあいの場所を設けて、父親の子どもへの関わり合いを強め子育てへの参加を促すという観点から「母親クラブ」等のボランティア組織の支援を得て日曜・休日に閉館している児童館の開館を促進し、親子地域交流活動等の実施場所として活用するための費用についても計上したところです。この事業は、児童館を管理する市町村役場等の理解と、実行者であるボランティア組織の責任の持ち方が重要な要素となります。子ども健全育成について、役所と民間ボランティア組織の連携により児童館という社会資源を活用しながら、親と地域を含めた社会全体で関わることとなり、その効果に期待をしていきます。

また、子育て支援基金の助成を得て実施している「母親クラブメディア・チェック」については二年目に入り、インターネットによる情報の収集と公開も可能になりました。全国の会員の皆さまのお力により、今後子どもに対する有害情報への牽制力・抑止力として十分に機能することが期待されます。最後になりましたが、日頃から児童の健全育成のためにご尽力・ご協力を賜わっております全国の会員の皆様方に心からの御礼と感謝を申し上げるとともに、全国の母親クラブの益々のご発展と会員の皆様方のご活躍を祈念しております。

伝承遊び



仙台市母親クラブ連絡協議会
子山早知子

私達が子どもの頃、父や母に教えてもらった昔なつかし遊びのかずかずは、メディアの世界で育った今の子供達には忘れられがちですが、遊びを通し、少しでも多くの子供達がお年寄りとの交流の中で、やさしさやいたわりの心を持つた子供に成長してくれたらと思います。

この仙台は転勤族の多い町です。したがって、ほとんどの家庭が核家族なのです。そんな若いお母さん方にとつて、慣れない土地での生活や子育てはたくさんの方と同居しているようなものだと思います。若いお母さんにとつて自分の父や母、そして子供達にとつてはおじいちゃん、おばあちゃんの味というのはなつか

しいものです。そしてお年寄りにとてもまた遠くにいる孫の姿を重ねながら思いを馳せていくと思います。今回企画によつて、お年玉、竹馬、竹とんぼ等の玩具の作り方、遊び方を教えてもらつて、輪があちこちに出来て、この時ばかりは児童館の庭が半世紀も昔の時代にもどつたような錯覚さえおこります。

自分のおもちゃを自分の手で作る事を多くの子供達に知つてもらうため、そしてまた元気で来年もお年寄り達が子供達と交流してくれる事を楽しみに、また来年度の活動計画の中に企画を作りの仙台独特の「いも煮」をほおばる子供達の笑顔を見られたことは秋の一時の楽しい出来事でした。



ターネットジョン(世代)と言われ、職場家庭などあらゆる環境でパソコンを利用している率の高い世代です。様々な情報が行き交うインターネット社会の中で、利用価値が高く、多くのお母さんが問題としている「子育て」や「健全育成」に関する情報を地域や年齢という枠を越えて提供できることを目指しております。

母親としての経験が豊富な現会員のもつ様々な情報やノウハウを若い世代の母親たちに伝え

- 1、親子および世代間の交流文化活動
- 2、児童養育に関する研修活動
- 3、児童事故防止の為の活動
- 4、その他、児童福祉の向上に寄与する

母親クラブホームページ のご案内とその利用方法

INDEX

ホームページの紹介

2. メディア・チェック

母親クラブ掲示板 のご案内（各県単位の連 絡協議会の紹介ページと おしゃべり広場）

4. その他

一、母親クラブホームページの紹介
(母親クラブのホームページが立ちあがりました。
是非ご覧ください。)

(<http://www.hahaoya.com>)

(http://www.hahaoya-club.net) (図A) 17

道を築いていけるような存在を目指しております。

とによって各地域の母親クラブの活動がより活発になることだと思います。

ることは、より良い母新層を育んでいく。また逆に、若い世代の情報を現会員が得ることによって、クラブの活動に新しい風を吹かせ、より良い組織を作り上げていく。こうした世代や地域を超えた交流の場を提供するのがインターネットです。

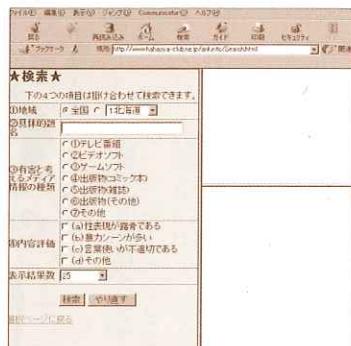
ることは、よって若い母新層を育てていく。また逆に、若い世代の情報を現会員が得ることによつてクラブの活動に新しい風を吹かせ、より良い組織を作り上げていく。こうした世代や地域を超えた交流の場を提供するのがインターネット

することにより、全国母親クラブ連絡協議会の会員を中心として、この趣旨に賛同してくれる多くの人を集め、「母親クラブの活動」そのものを広くアピールし各地元の活動にも結びつくりうになることを願います。

「情報の提供」の覧をお選びください。際にパスワードを要求されますがこれにはひらがなで「ちちは」と入力してください。このパスワードの制度は近々には廃止され、どなたでも自由にご参加頂けるようになります。(図D)



— A



圖一B

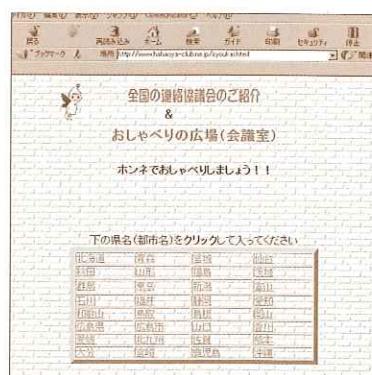
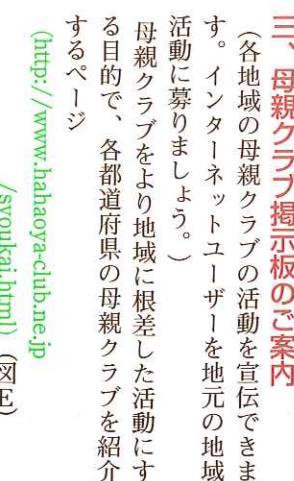
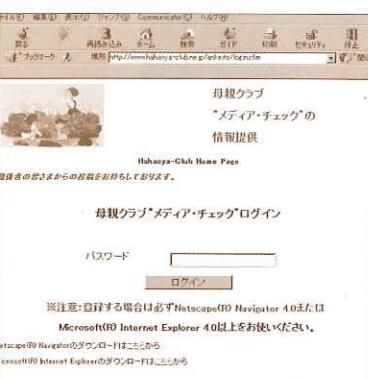


図-E



e.jp



四〇

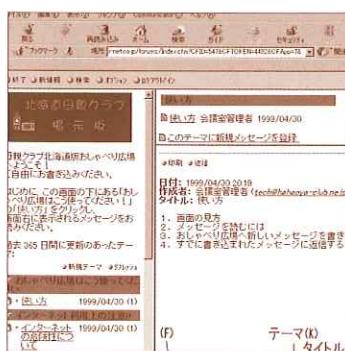
(全国で35ヶ所、工事中のところもあります)を開設いたしました。このページにアクセスしますと各県のホームページ(図F)が見られる表につながります。そこからご覧になりたい県を選んでいただると紹介ページにたどり着きます。



図-F

さらにこの各県のページの中にはそれぞれ「おしゃべり広場」(図G)という掲示板が設けられており、ネット上で活発な意見交換が行えるようになります。このページの使い方は各県の「おしゃべり広場」の「おしゃべり広場はこう使ってください」というテーマに「使い方」という項目がありますのでご参照下さい。

図-G



県レベルの活動内容をホームページを通じて幅広いインターネットユーザーに伝え、あなたの県の活動内容を知らせる事によって新しい理解者や協力者を募る事が出来ます。

また、各県で起きている課題を日本全国の母親クラブの「おしゃべり広場」に公開し、クラブ全体で各課題を解決したり、語りあつたりでき

るようなパックアップ態勢が確立されるようになりました。各地元の活動や出来事をのせ、また掲示板をつかって積極的な意見交換の場にしてください。またこのページを利用して310万人以上もいるインターネットの女性ユーザーを各地域や地元の活動や地域の行事への参加も呼びかけましょう。

四、その他・今後の楽しみ

母親クラブのホームページ活動においては今後下記のようなことが期待できます。

(1)お知らせのデジタル化

(電子メールによる定期会報誌)(図H)

- ①母親クラブの活動、行事、子育てのお知らせ
- ②子どもたちの健全育成に関するお知らせ
- ③厚生省からのお知らせ
- ④今月の行事

⑤研究・調査・アンケート等の結果の発表

近い将来上記のお知らせは全母協から定期的に電子メールを使ってあなたの元に届くようになります。

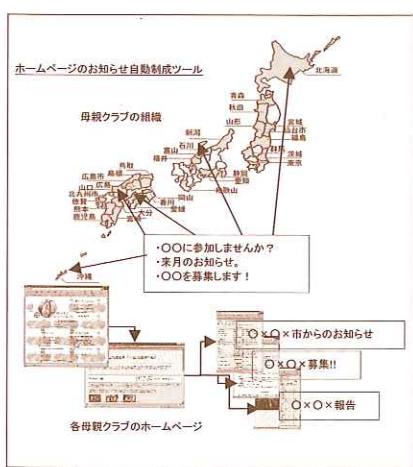


図-H



各ホームページアドレス 厚生省

<http://www.mhw.go.jp/index.html>

全国母親クラブ連絡協議会

<http://www.hahaoya-club.ne.jp/>

社団法人全国児童館連合会

<http://www.jidoukan.or.jp/index.html>

て初心者であつても簡単に場所を問わずに情報を持載したり、更新できます。地域でのイベントや行事のお知らせが、より簡単に知ることができます。

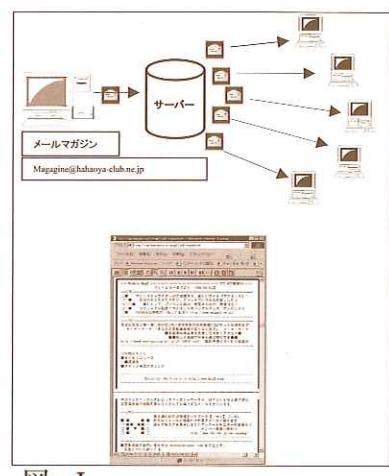


図-I

(3)各ブロック研修会においてメディア・チェックやインターネット活用に関する質問や報告をする機会をつくる予定です。

(4)インターネット活用について具体的な資料等をご希望の方はお問い合わせ下さい。希望者が多い場合は、別途配布いたします。

「全国母親クラブだより」の第5号をお届け致します。お陰様で「全母協」の情報紙として定着しつつありますが、年二回の発行である為、十分なものとは言えません。日常の情報交換については、今年三月にインターネット上に母親クラブのホームページを開設致しましたので、ぜひ情報交換等にご活用下さい。(細部については、当機関紙の母親クラブホームページのご案内とその利用方法の欄を参照)

なお、当事務局に異動がありましたのでお知らせ致します。

母親クラブ担当の事業部長になりました、佐藤義道氏が二月末にて退職(在職六年)、経理・総務担当の倉林良子さんが六月末にて退職(在職十二年)されました。倉林さんの後任として、堀内良昭氏が配属されましたのでよろしくお願い致します。

佐藤義道氏並びに倉林良子さんの今までの母親クラブ活動に対する親身なお世話に、深く感謝すると共に、お二人の今後のご健勝を祈念いたします。



堀内

山崎

佐藤
倉林

事務局便り